

アイデア募集!

県大との協働事業、皆さんは……。

今回の協定の締結を機に市では、岡山県立大学と、保健や教育、まちづくりなどさまざまな分野でこれまで以上に協働を進めていきます。

そこで、広く市民の皆さんからも、協働事業のアイデアを募集します。

募集期限 4月25日(金)

アイデアの提出方法 住

所、氏名、アイデア、電話番号を明記し、郵送かFAX、Eメールで提出。記入の様式は任意です。なお、電話や口頭では受け付けません

提出先・問い合わせ
企画課企画調整係
☎ 082 8213、☎ 082 9479
〒719-1192 中央一丁目1番1号
kikaku@city.soja.okayama.jp



県大生の応援にもなる
総社商工会議所 田辺 豊 専務理事



昨年、観光PRのためラッピングされたカルピスのトラック。約1年間走り、総社の知名度アップに貢献した

観 光PRのために、トラックへのラッピングデザインや観光ポスターのデザインなどで県大と関わってきました。県大のもつノウハウだけでなく、若いエネルギーな発想が、総社市を変える起爆剤だと期待しているんです。学生たちには、大学生活のなかで地域と関わることで、総社に愛着(第二の故郷)をもち、良い思い出を作してほしいですね。そのため応援をしていきます。

声 やってみて思うこと

県大の得意技が生きる
内田 靖彰 区画整理課長



常 盤公園の建設に向けたワークショップの進行役を、デザイン学部2人にお願ひしています。ここでは、地域に密着し、市民の皆さんが愛着のもてる公園になるようにと、2人はいろいろな意見を、参加者から引き出しています。最後には、たたき台となる立体的なデザイン案も登場します。まさに、県大のお家芸を生かした協働事業ですね。



2月16日に行われた2回目の常盤公園ワークショップの様子

総社と密着したテーマで実体験

岡山県立大学 デザイン学部 西田 麻希子 助教

県 立博物館を誘致する会が誘致活動に使用するPRグッズのデザイン提案を、デザイン学部の2年生27人が手掛けました。文具や食器、ペーパークラフトなど、できあがったものはさまざまでしたが、「効果的に活動を周知すること」や「コミュニケーションを促すこと」などを目指して作られています。実は、2年生にとっては初めての企画・提案作業でしたので、たいへんでした。しかし、地域に根ざした現実的な課題で実体験できたことは、学生たちにとって大きなプラスになったと思います。今後も、こうした事業に関わっていきたいですね。



2月29日、学生一人ひとりが自分の作品のテーマやセールポイントを、県立博物館を誘致する会のメンバーにアピールした



まちづくりに生かされている知恵とアイデア

今回、包括協定を締結しましたが、市と岡山県立大学との協働事業は、これまでも数多く行われてきました。ここでは、事業に関わった人たちの声を紹介します。

多くの人に大学をもっと知ってもらいたい

岡山県立大学 デザイン学部 桑野 哲夫 教授



総 社市の人に、岡山県立大学をもっと知ってもらおうと、『広報そうじや』の裏表紙を使って県大をPRすることになりました。デザインをはじめ、取材、文章にいたるまでの全てを大学の教職員と学生で行います。皆さんに県大を理解してもらうため、皆さんの目線で、語りかけるようなイメージで、やさしく分かりやすく伝えることを基本に編集します。そして、県大には3つの学部があり、それぞれ違った視点で、学部の取り組みを紹介していきます。いろんな目線があるのだと、この連載を楽しんでいます。ただけたらと思います。



今月号に掲載したシリーズ1作目のレイアウトやロゴについて打ち合わせを行う桑野さん